

そうやのひと

令和5年度北海道指導農業士・北海道農業士認定 令和5年度北海道知事感謝状受賞

令和5年度は、北海道指導農業士に十倉仁さん（中頓別町）、久世亮さん（稚内市）、北海道農業士に佐藤秀樹さん（中頓別町）、鷺尾武瑠さん（浜頓別町）、石原拓さん、石原千仁さん夫妻（豊富町）が新規で認定されました。今後も次世代の農業の担い手の育成指導や地域振興への助言など地域農業のリーダーとしての活躍が期待されます。

また、安彦隆さんが長年の指導農業士としての功績をたたえられ、北海道知事感謝状を受賞いたしました。



（左から）安彦さん、久世さん、
十倉さん、佐藤さん



鷺尾 武瑠さん



久世 亮さん



北海道知事感謝状受賞 安彦 隆さん



石原 拓さん



石原 千仁さん

職員紹介

転入者

お世話になります。よろしくお願いいたします。

宗谷本所

普及指導員 近藤 駿
（網走農業改良普及センター
遠軽支所より）

普及職員 伊藤 黎
（新規採用）

宗谷北部支所

主査（地域支援） 高木 啓昭
（十勝農業改良普及センター
十勝北部支所より）

主査（畜産） 佐藤 康司
（網走農業改良普及センター
本所より）

専門普及指導員 三島 悠輔
（胆振農業改良普及センター
東胆振支所より）

転出・退職

お世話になりました。

宗谷本所から
藤井 俊哉（網走農業改良普及センター紋別支所へ）
宗谷北部支所から
三浦 孝雄（十勝農業改良普及センター十勝東部支所へ）
横山 優（渡島農業改良普及センター渡島北部支所へ）
永井 守（農業大学校へ）
瀬谷 千里（後志総合振興局農務課生産振興係へ）

毎週更新 本年産
牧草生草分析値
ご活用ください！



普及職員（農業）募集中！

お気軽にお問い合わせ下さい。採用情報



重点活動の紹介

- 中頓別町松音知地域
- 豊富町目梨別地域

そうやのひと

- 令和5年度北海道指導農業士・農業士認定
- 令和5年度北海道知事感謝状受賞

職員紹介 他

今号の
表紙

ff宗谷春の研修会風景

女性グループネットワーク組織である宗谷農村女性連絡会議（略称：ff宗谷）は、春と秋に研修会を開催し、研修会を通じて、情報交換、相互交流の場となっています。



活動紹介

重点活動

中頓別町 松音知地域

R6は暑熱対策が鍵

中頓別町松音知地域では、粗飼料基盤を活かした生乳生産性を高める取組を行っています。

より良いサイレージ調製から食い込ませる飼養給与管理まで各種改善ポイントを農場とともに進めています。

R5年度は記録的な猛暑となり、乳牛にも経営にも苦しい夏となりました。昨年の取り組みの中で換気および送風（牛体を冷やす）対策の重要性が認識されました。A農場では送風機の角度を調整

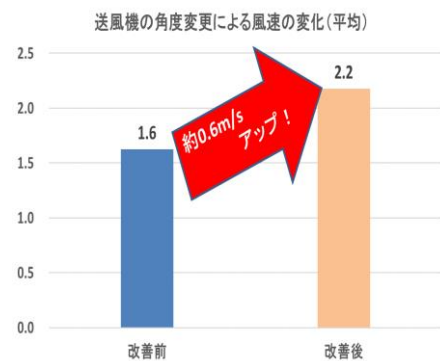
することで、牛に当たる風速が早くなるなど改善後の効果も注目されているところです。

今年は早めからの対策を講じて、宗谷の暑熱によるロス低減していきたいと考えています。

なお、普及センターでは粗飼料の品質向上にも取り組んでおり、5月20日以降、毎週生草分析を実施していますので、本年の牧草生育・成分状況をHPにて確認いただけます。ぜひご活用ください。（5/20～オーチャード・5/最終週～チモシー）



牛舎内の温湿度指数の現状を説明



送風機の角度変更後の風速



懇談会でも暑熱対策が話題に

豊富町 目梨別地域

生産効率アップで人も牛も快適に

令和5年度は、地域の皆さんと様々な取組を実施してきました。その一部を紹介します。

○施設整備による飼養環境の改善

乳牛の快適性確保による生産性向上を目的に、飼養環境の改善について提案を行いました。

C農場では、牛床の溝切りと飼槽隔壁の設置を行い、牛の脱臼事故が4頭から0頭に減少し、隔壁によって牛床への引き込みが少なくなり、採食量の向上と飼槽の清掃作業が省力化となりました。

○飼養環境の充実による生産性の向上

飼料給与改善のため、B農場ではエサ押し回数増加、周産期に糖蜜飼料給与を提案し、個体乳量が1日当たり4.8kgの増加となりました。

牛舎の衛生管理として、C農場では、子牛の疾病予防のため石灰塗布を実施するよう提案したところ実施され、農業者からは「牛舎が明るく作業がしやすい」との声がかけられました。

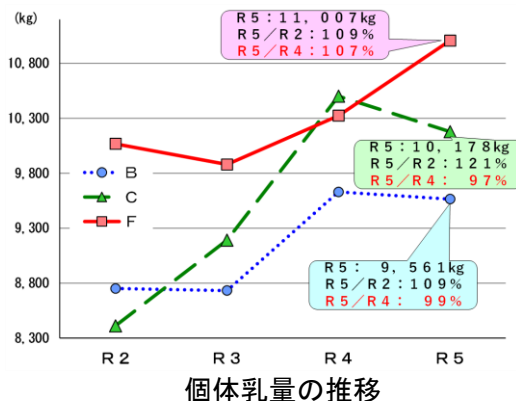
令和6年度は、粗飼料の品質向上と有効活用、疾病の更なる低減、繁殖成績向上の取り組みによる生産性の向上と所得の確保を目指します。



飼槽隔壁の設置



石灰塗布



個体乳量の推移

活動紹介

広域活動

担い手

多様な担い手への支援・農業生産法人への活動支援

担い手担当では、多様な担い手(新規参入者・青年農業者・女性農業者・指導農業士・農業士)や農業生産法人(酪農法人情報交換会・宗谷TMRセンター連絡会)への活動支援を行っています。

宗谷TMRセンター連絡会の令和5年度の取組は、労働力確保に向けた活動が中心でした。

秋期研修会では、コントラクターやTMRセンターそれぞれが抱えている課題(労働力確保等)について意見交換を行い、会員内で情報を共有しました。

宗谷TMRセンター連絡会の令和6年度の活動としては、引き続き労働力確保に向けた活動を計画し、先進事例の調査や秋期研修会を開催する予定です。

普及センターでは、対象者の要望に応じた支援を行い、満足度の高い研修・交流の場を提供します。



昨年の宗谷TMRセンター連絡会秋期研修会

情報・グリーン・有機

普及情報の発信と畜産GAPの普及推進

【情報】

ホームページ(以下HP)では毎月酪農技術情報や地域話題を掲載しています。当センターのHPが農業経営の参考になれば幸いです。また、紙媒体として、FAX情報や普及センターだよりの発行を行っています。

令和6年度もHPや紙媒体を通じて、普及センターの活動紹介や皆様に参考としていただける情報をお届けします。

【グリーン・有機】

令和5年度は身近なGAP情報を基にしたGAPの啓発活動やGAPに関心を持たれている農場での支援を行いました。身近なGAP情報はNo.12まで作成しHPで紹介しています。

令和6年度もGAPの啓発と取組支援を継続します。GAPは作業効率の向上やロスの削減に大変有効な手段です。少し見方を変えて農場運営を見直してみませんか？



ルーキーズ☆カレッジでのGAP情報提供

高付加価値化

地域資源を活かした付加価値活動の推進

高付加価値化担当では、付加価値活動実践者の支援および、情報整理、チーズづくり体験会の支援、中頓別町における醸造用ぶどうの栽培支援を中心に行っています。

チーズづくり体験会では、昨年度から各地域の関係機関の方々と連携しながら、体験会ニーズの掘り起こしや、体験講師を担って頂く農業者や関係者への働きかけを行いました。このような取組の結果、小中学生や観光客などを対象にした体験会を計4回開催し、体験者の好評を得ました。本年度も同様に体験会を開催し乳加工技術の地域への定着と講師を担う人材の育成を支援していきます。

醸造用ぶどうの取組は、令和5年度から醸造に向けた本格栽培が始まっています。ぶどうの安定栽培と令和4年度発足した研究会組織によるぶどう栽培を通じた地域活性化を引き続き支援していきます。



チーズづくり体験会(中頓別開催)